

町議会だより 第97号

群馬県昭和村議会

令和2年4月15日 3月定例会

Contents

2～3 令和2年度予算

4～6 3月定例会

10～17 村の姿勢を問う

19 みんなの声

7,500万円

(前年度比9.8%増)

駐車場拡張 1億円

ともに限られた財源の中で安全・安心な村づくりを第一とし、
に力を注ぐ令和2年度当初予算を承認した。

歳入

自主財源

村が独自に確保できる
お金。村税や施設使用
料など。

依存財源

国や県の判断により割
り当てられるお金。地
方交付税や村債など。

村税

皆さんからの税金で賄
われるお金。主に村民
税や固定資産税など。

地方交付税

ある一定の基準で国が市
町村に支給するお金。

県支出金

県から市町村へ特定の
事業に対して支給され
るお金。

国庫支出金

国から市町村へ特定の
事業に対して支給され
るお金。

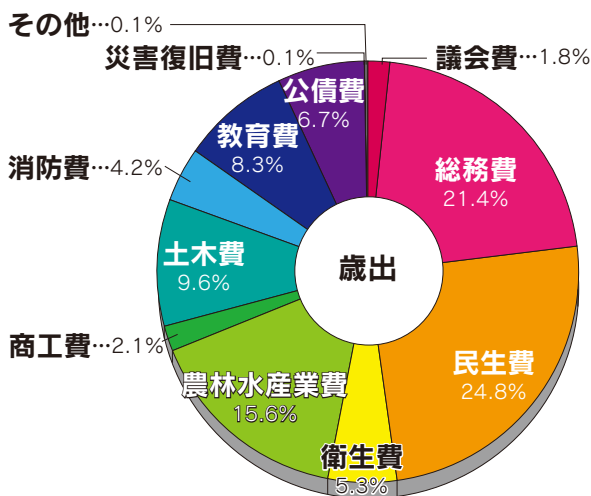
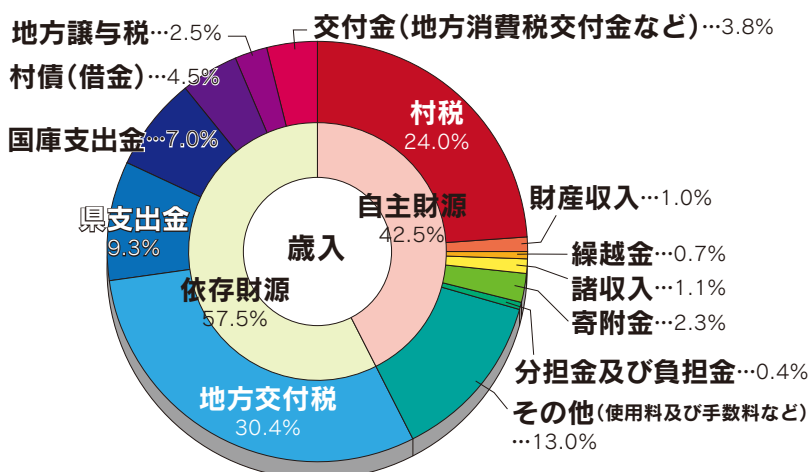
村債(借金)

事業を行うために村が
借りるお金。

地方譲与税

国税として徴収したも
のを、市町村に対して
譲与するお金。

一般会計予算



歳出

議会費

村議会運営の経費や議
員報酬など。

総務費

主に人件費や事務費、
観光イベント等の開催、
選挙経費など。

民生費

社会福祉や児童福祉 (保
育園の管理・運営など)、
老人福祉の経費など。

衛生費

各種検診や母子保健事業
の経費。家庭から出るご
み処理のための経費など。

農林水産業費

農林業の振興や土地改
良事業の経費など。

土木費

村道の整備や砂防工事、
除雪費用など。

消防費

消防・防災施設整備の経
費(消防団の運営など)。

教育費

小中学校の管理費や講
演会・各種スポーツ大
会などの開催経費。給
食センターの経費など。

公債費

事業をするために借り
入れた村債の元金・利子
の返済金。

特別会計予算 (前年度比10.0%増)

総額 29億2,123万円

国民健康保険特別会計	12億5,051万円
簡易水道事業特別会計	2億9,750万円
農業集落排水事業特別会計	4億5,315万円
介護保険特別会計(65歳以上)	8億3,409万円
後期高齢者医療特別会計(75歳以上)	8,598万円

令和2年度
予算

予算総額 43億

道の駅「あぐりーむ昭和」

持続可能な行財政運営に向け、財政の健全化を進めると
将来を見据えた子育て支援や教育環境の整備、定住対策等

総務課

「自主防災組織助成事業」50万円、自主防災組織へ活動助成を行います。

会計年度任用職員制度が導入されます。

企画課

「結婚新生活支援事業」90万円、結婚に伴い生じた家賃や引越費用などを助成し、新生活を支援します。
(最高30万円)

保健福祉課

第二保育園のトイレ改修事業費として、1千260万円が予算計上されました。

産業課

道の駅「あぐりーむ昭和」の駐車場4000㎡を拡張、舗装工事を行う工事費1億円が計上されました。

「農業用ハウス強靱化緊急対策事業」135万円、

耐候性がなく対策が必要な農業ハウスについて、補強や防風ネットの設置等を支援します。

建設課

「橋梁維持管理事業」2千300万円、点検の結果により修繕が必要となった橋梁の詳細設計及び補修工事を行います。

教育委員会

東小学校、南小学校、昭和中学校のトイレの一部洋式化工事を行うため、1千500万円を予算計上しています。また、総合運動公園内のグラウンドゴルフ場やテニスコートをリニューアルするため、1千450万円を予算計上しています。



ふるさと納税活用事業

総務課

- ・交通安全対策管理費(高齢者交通安全対策補助金)
- ・災害対策費(自主防災組織活動助成金)

企画課

- ・企画振興事業(昭和の秋まつり等補助)
- ・観光事業(道の駅観光PR業務委託料)

保健福祉課

- ・家族介護慰労事業(家族介護慰労金)
- ・疾病対策予防事業費(インフルエンザ予防接種(中学生まで))

産業課

- ・経営改善支援活動推進事業費(産業青年海外派遣事業)
- ・緑の少年団育成事業(中学生森林に親しむ会負担金)

建設課

- ・道路愛護事業(維持補修用材料)
- ・住宅リフォーム補助事業(住宅リフォーム補助金)

教育委員会

- ・事務局管理費(特別支援教育指導員の配置)
- ・体育施設維持管理費(グラウンドゴルフ場改修工事)

3月定例会

今定例会は3月6日から17日までの会期で開催され、令和2年度予算を含む計27件(諮問1件、承認1件、議案25件)の議案をいずれも原案のとおり可決しました。

消防団員27名減

人事

人権擁護委員の推薦

前橋地方法務局の要請により委員を3名体制にするため、新たに須田金吾氏を推薦することを承認。

専決処分

令和元年度一般会計補正予算(第5号)

総額

8850万円を増額
47億3345万4千円
ふるさと納税の寄附金増に伴う返礼品等の増額。

条例改正

昭和村の区の設置及び組織に関する条例の一部改正

地方公務員法等の改正により会計年度任用職員制度が4月から施行されることに伴い、区長の任用が従来の特別職非常勤職員ではなくなり私人となるため、区長業務は委託契約とするための改正。

昭和村消防団に関する条例の一部改正

消防団員の条例定員数について、現状の314名から27名を減員し287名にする改正。

昭和村国民健康保険税条例の一部改正

刑事施設等に収容されている被保険者の国保税の減免について、出所後の遡及減免を可能とする改正。

昭和村小口資金融資促進条例の一部改正

平成15年度から実施している売り上げ減少などの要件を満たす場合の借り換え制度を、令和3年3月末まで延長するための改正。

監査委員事務執行に関する条例の一部改正

地方自治法等の一部改正により、各地方公共団体の監査について、国の指針を踏まえ監査基準を定めて公表することとなったための改正。

昭和村議会の議決すべき事件に関する条例の一部改正

定住自立圏構想の中心市となる沼田市と定住自立圏形成協定の締結、変更または廃止を求める通告に関し、地方自治法に規定する議決事件として定めるための改正。

補正予算

令和元年度一般会計補正予算(第6号)

総額
2億861万5千円を増額

総額

49億4206万9千円
給与改定による人件費の増、ふるさと納税の寄附金の増額に合わせた、緑の大地ふるさと昭和基金への積み立て、道路改修に伴う未登記道路の登記業務の増、また、各種交付金の決定や事業実績に伴う補助金の減額等。

令和元年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

総額
352万1千円を減額

12億9267万5千円
出産件数減少見込みによる出産育児一時金などの減額及び保健指導事業委託料の減額等。

令和元年度簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)

総額

35万2千円を増額
1億6274万2千円
新規加入負担金の増額及び工事費減額に伴う基金への積み立ての増による増額等。

令和元年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)

総額

1157万3千円を減額
3億2534万円
光熱水費の見込み修正、新規施設管路事業費の減、戸別浄化槽維持管理費の減、及び工事請負費の確定による減額。



令和元年度介護保険特別会計補正予算(第3号)
 731万8千円を増額
総額
 8億6479万7千円
 利根沼田広域圏における介護認定負担金額の増、介護サービス諸費及び介護予防サービス費の増額等。

令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
 9万7千円を増額
総額
 8536万5千円
 人間ドック補助金及び広域連合への納付金の増による増額等。

令和2年度 重点事業ピックアップ

庁舎建設に係る実施設計業務委託事業

6000万円

新庁舎の建設に向けて、基本設計業者が決定したことから、令和2年度は、実施設計を行う。

保育園副食費補助事業

480万円

幼児無償化に伴い、実費徴収が原則となった副食費を負担する。



移住支援事業

100万円

群馬県内の中小企業等への就職や起業をする移住者を支援する。

高齢者バス定期券実証実験事業

15万円

沼田地域(沼田市、川場村、昭和村)で高齢者バス定期券を導入し、高齢者の外出促進や増収(新規バス利用への取込)効果の将来見込を計測する。

はばたけ「ぐんまの担い手」支援事業

210万円

認定農業者等の意欲ある担い手の育成、新規就農者や企業等の新たな担い手の確保、経営の多角化や法人化を積極的に進める生産者など、農業の将来を担う力強い経営体育成を目的に、機械の導入・施設等の整備を支援する。

高齢者交通安全対策事業(踏み間違い防止)

30万円

高齢者の交通事故防止対策として、自動車ペダル踏み間違い防止装置整備補助金を交付する。

援護事業(戦没者追悼式)

61万円

戦後75年、本年は5年ごとの節目の年に当たり、戦没者追悼式を挙げる。



松くい虫伐倒防除・樹幹注

306万円

森林病害虫等を早期に駆除し、その蔓延を防止することによって森林の保全を図る。

提出された議案等と賛否一覧

※○は賛成 ●は反対 ※議長は、採決に加わらない。		沢浦典子	林勝美	倉沢つかさ	阿部孝司	片柳悦夫	高橋隆雄	林祐司	藤井貞充	加藤生	林幸司	横坂末吉	永井一行
第1回定例会(令和2年3月6日～17日)													
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
承認第1号	専決処分事項の承認を求めることについて 令和元年度昭和村一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第1号	昭和村の区の設置及び組織に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第2号	昭和村交通安全条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第3号	昭和村消防団に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第4号	昭和村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第5号	昭和村小口資金融資促進条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第6号	監査委員事務執行に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第7号	昭和村議会の議決すべき事件に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第8号	昭和村交通指導員設置条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第9号	群馬県市町村公平委員会の共同設置に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第10号	昭和村公の施設(昭和村農産物加工所「飛躍」)の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第11号	昭和村公の施設(道の駅めぐりーむ昭和)の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第12号	村道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第13号	村道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第14号	令和元年度昭和村一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第15号	令和元年度昭和村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第16号	令和元年度昭和村簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第17号	令和元年度昭和村農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第18号	令和元年度昭和村介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第19号	令和元年度昭和村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第20号	令和2年度昭和村一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
議案第21号	令和2年度昭和村国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
議案第22号	令和2年度昭和村簡易水道事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第23号	令和2年度昭和村農業集落排水事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第24号	令和2年度昭和村介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第25号	令和2年度昭和村後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

全員協議会

1月・2月・3月に開催した全員協議会での協議内容は以下のとおりです。

1月27日

令和元年度昭和村一般会計補正予算(第5号)の専決処分について

ふるさと納税寄附額増額により補正予算を組む。

12月末現在の寄附額

4億4千162万5千円
補正額8千850万円専決処分にて行いたい旨、説明を受ける。

2月20日

新庁舎建設に伴う基本設計プロポーザル審査結果について

令和2年2月10日役場会議室にて、4社によるプレゼンテーションが行われる。最優秀作品(受託候補者)(株)福島建築設計事務所次点は(株)石井設計との報告を受ける。



災害時における避難場所の施設使用に関する覚書について

沼田市、昭和村が平成27年1月13日利根沼田5市町村で締結した「災害時における相互応援に関する協定」に基づき覚書を締結する。

内容は、岩本地区の緊急避難場所として、昭和村地域活性化センターを指定するが、村民を優先するとの説明を受け協議した。

定住自立圏構想について

定住自立圏構想とは、中心市と近隣町村が対一で協定を締結し、「生活機能の強化」「結びつきやネットワークの強化」等に関する連携事業を行う取り組みとの説明を受け協議した。

高齢者バス定期券実証実験について

高齢者バス定期券を試験導入し、高齢者の外出促進や増収効果の将来見込を計測する。対象地域は、沼田市、川場村、昭和村で、実施予定期間は、令和2年9月1日、令和3年2月28日の6か月間とする旨の説明を受ける。

GIGAスクール構想について

全国の小中学校において一律のICT環境を整備するため、児童生徒一人一台端末を前提とした高速大容量の通信ネットワークを整備する。国庫補助金50%、交付税措置30%。タブレットについては、100%補助による事業。

実施予定期間については、令和2年度から5年度までに、小中学生全員に対して段階的に導入するとの説明を受ける。

3月16日

新庁舎建設に向けた報告と今後の予定について

基本設計事業者は、(株)福島建築設計事務所、契約金額1千991万円(消費税込み)、令和2年2月21日に契約を締結した。

今後の方針については、建設委員会による検討、庁内検討委員会の設置、3月16日から4月15日の間パブリックコメントを実施、また、村内数箇所において新庁舎建設の説明会を開催する予定。基本設計完了の目安は8月末との説明を受け協議した。

南部簡易水道浄水場改修工事について

本来2基のポンプの相互稼働により永井と入原地区に給水を行っていたが、2号井戸からの取水に濁りが生じ使用不能となっている。

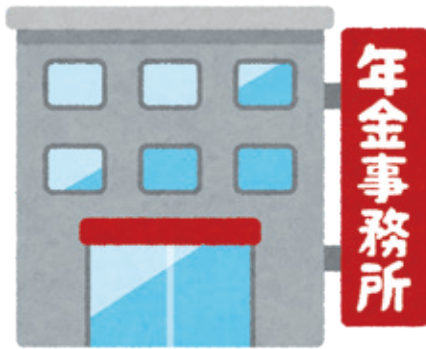


震災等の非常時に現状の1基に異状が発生した場合、給水が滞る懸念があり、2基の井戸による安定した供給を目的とした改修工事を実施したい旨の説明を受け協議した。

総務民生常任委員会

村政一般、庶務、民生、保健、他の委員会に属さない事項を所管

請願を審査 1 件を採択 1 件を趣旨採択



「年金支給の隔月支給を毎月支給に改める請願」
公的年金は、高齢者世帯の収入の7割を占め、6割の高齢者世帯が年金収入だけで生活し、老後の生活保障の大きな柱となっています。年金支給が、3か月から隔月支給に改善され29年が経過しました。高齢者の生活実態に合わせることでより年金を活用しやすくなるなどのことから、年金支給の毎月支給を求める旨の請願を採択し、意見書を提出することにしました。

公的年金の毎月支給を求める意見書

公的年金は、高齢者世帯の収入の7割を占め、6割の高齢者世帯が年金収入だけで生活し、老後の生活保障の大きな柱となっている。

そして、多くの高齢者は、月単位での消費生活をおくっていますが、その生活を支える公的年金は、隔月支給となっている。すでに欧米諸国では、毎月支給を実施しているところが多く、より暮らしやすい支給となっている。

年金支給が、3か月から隔月支給に改善され29年間が経過し、欧米諸国と同じく「毎月支給」に改善し、高齢者の生活実態に合わせてほしいという声が高まっている。

よって、国及び政府においては、下記事項を実現するよう強くお願いするものです。

記

- 1、公的年金の隔月支給を毎月支給に改善していただきたい。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。

令和2年 3月17日

衆議院 議長 大島 理森様
参議院 議長 山東 昭子様
内閣総理大臣 安倍 晋三様
財務大臣 麻生 太郎様
厚生労働大臣 加藤 勝信様

群馬県利根郡昭和村議会
議長 永井 一行

「若い人も高齢者も安心できる全額国庫負担の最低保障年金制度創設を政府に求める請願」
最低保障年金制度の創設は無年金者をなくし、低年金の解消にも繋がっていますが、年金未払い者の増加、財源の確保など考慮しなくてはならない点も多々

あることから、趣旨採択としました。



文教産建常任委員会

教育、産業、経済、土木、建設、簡易水道、農業集落排水等に関する事項を所管

請願1件を審査

「貝野瀬桐久保地内からの道路排水改良工事の実施を求める請願書」を審査

桐久保のバラ園付近に集まった雨水が山林内を流れ、直下の畑の民々境の素掘り側溝を流れ、根岸地区を通過し、大門地区を流れ伏田用水の方に放出されている。

その山林はすでに溝が深く砂防堰堤を築かなければならないような状態であり、過去に桐久保からの濁流が根岸地区を襲ったこともあった。

請願箇所について現地調査を実施し、その後、審査を行った。

山林を下ると深い溝が確認でき、水の勢いの凄さに圧倒された。それらを分散すること等の再調査をする必要ありとの意見を付した後、全会一致で採択とした。



村内の文化財、 遺跡名木などの保護について

教育長 関係者と活用などについて
調査・研究



林 勝美 議員

問 村内の文化財の現状と保護について伺いたい。

答 教育長

村内には県指定の文化財が2箇所、村指定の文化財が19箇所あります。また、一昨年に報告書をまとめた「糸井太夫遺跡」を始めとする6箇所の遺跡が存在します。

文化財の保護は、文化財保護法等の規定により所有者が管理するものとなっておりま

す。村所有の指定文化財4箇所は教育委員会を除草作業等の管理を行い、残りの17箇所は所有者の方々に管理をしていた



生越清水の化石林

名木については、平成13年に村づくり協力委員が選定し、平成14年に指定しました。指定後は各名木に看板を設置し、管理は所有者に委ねています。生越清水の化石林は、平成15年に村指定の文化財となりましたが、その周知は進んでいません。今後は、関係者と活用などについて調査・研究をしてまいりたいと考えておりますので、よろしく

一般質問のその後の進捗状況について

問 私が今まで一般質問した中で答弁されたことに対し、その後の進捗状況を伺いたい。

答 村長

桜まつりの開催については、昨年度の駅を訪れた方に、つきたての餅を無料で配布するイベントを開催いたしました。しかし、3月下旬からの冷え込みにより、当初想定していた4月上旬の開花が間に合わず、肝心の桜が咲いていない状態での開催となってしまいました。

イベントは、事前告知が必要となることから、開催日を決めて準備をしなければなりません。自然を相手にする難しさを感じたところではあります。今年、昨年の4月についても、昨年と同様の内容で開催する予定となっております。しかしながら、



観光トイレ

現在、新型コロナウイルスの影響で、不特定多数の人を集めるイベントの開催が見送られており、今後も感染拡大が大変心配される状況にあります。今後の状況を的確に捉えて判断していくこととなると思いますので、よろしくお願いいたします。

次に観光トイレの飲料水化についての調査であります。9月以降、機会を見て調査を行いました。結果、飲料水として利用することは難しいと考えられますので、ご理解をいただきたいと思います。



倉沢つかさ 議員

4月から始まる 英語教育について

教育長 村内小学校教員指導力向上を目指す



教科書(イメージ)

問

この4月から、小学5、6年生を対象に英語が教科として始まります。

中学校英語につながる大事な学年での教育に必要な教諭の人事、教科書等の準備の現在の状況を説明してください。

また、民間試験(英検)の中学生の受験率と、受験料に関して、補助金制度のある自治体があるようですが、昭和中村としては、補助金を検討されているかお伺いしたい。

答

教育長

小学校では、英語教育アドバイザーを活用し教員の英語指導力の向上を図り、ALT2名を配置して英語教科化に向けた授業を先行実施いたしました。また、指導書や指導者用の教材の準備も進めています。

中学生の英語検定の受験率は36・6%です。受験料の補助は、みなかみ町、川場村が行っているようです。本村での実施は、近隣町村の様子や財政状況等を考慮し調査研究をしていきたい。

群馬DCの昭和村の取り組みについて

問

群馬DCは、4月から6月までの3か月間、群馬県内の市町村や観光関係者と全国のJR6社などが一体となって行う大型観光キャンペーンです。全国に群馬の魅力を発信出来る期間です。パンフレットが出来上がり各地域の企画を紹介しています。昭和村では、どのような取り組みを計画していますか。

答

村長

本村では、やさしい王国昭和村の特色を活かした、レタス、ジャンボにんにく、いちご等の収穫体験や田植え体験、歩LOOKINGやレンタサイクル、奥利根ワイナリー見学等を予定しています。PRにつきましては、昨年度から、旅行会社に情報提供を行っています。キャンペーン中は、村内民間企業等とも連携しながら観光誘客に取り組んで参りたいと思います。



群馬デスティネーションキャンペーン 県民ポスター
ググっとぐんま観光宣伝推進協議会



沢浦 典子 議員

問

災害時の保育園や老人施設の 安全面について

市長 災害時の対応は、
各施設が準備を進めている

答
村 長

保育園では避難訓練を毎月実施し、災害時は、クラスの担当が対応、その他の保育士や調理師が補助につきます。介護サービス事業所においては、年2回の訓練を実施しています。

問 避難訓練や避難場所の確認はできているか。また、0歳児やお年寄りが避難する場合のスタッフは十分であるか。

答
村 長

既存の施設については確認をしております。今後、新設される施設につきましても、災害時の対応マニュアル等の作成については、事業者を確認しながら、対応していきたい。

問 身体の不自由なお年寄りの全員避難は難しいと思うが、各建物自体の耐震等の確認はできているのか。

答
村 長

道路愛護運動による村民皆さんのご協力のもと、路面の穴埋め・清掃等の整備を行っていただいています。また、平成30年度の点検後に策定した舗装維持修繕計画に基づいた補修工事や、必要な箇所については、随時補修工事等を行っております。

問 村の道路は、河岸段丘ハーフマラソンやセンチュリーライド等で使用するが、整備状況はどうか。

答
建設課長

県営事業であるため、県と協議をしながら復旧作業ができればと思います。

問 昨年発生した自転車事故の現場は、応急処置をしたと聞いたが、その後はどうか。

村の道路の整備状況・点検について





阿部 孝司 議員

滝寺1、2班里山平地林整備事業について

村長 森林環境譲与税の活用なども
模索していきたい

問

平成27年に滝寺区
東南山側の山林整
備事業が行われました。
その後の管理は滝寺1、
2班の人たちが山ザクラ
山モミジを植林し、下草
刈りや伐採を行っていま
す。しかし、急傾斜地で
あり面積も広く、高齢者
の多い地区の人たちでは
大変なため、村の力添え
を願いたいと思うが、村
長の考えを伺いたい。

答
村長

県の緑の県民税を活用
し平成27年度から3年間
で整備を行いました。28
年度から緑の県民税管理
事業補助金を交付して管
理を行っていただいてお
ります。

さらなる援助とのこと
ですが、役場で保有して
いる刈払機や粉碎機など
の活用をしていただき、
森林環境譲与税の活用な
ども模索していきたいと
思います。



植樹



草刈り

役場駐車場について

問

昨年の第3回村議
会定例会におい
て、駐車場用地取得につ
いて一般質問をしました
が、設計業者からの庁舎
と駐車場等の配置案を見
てから考えたいとの回答
でした。

答
村長

2月10日プロポーザル
を行い、最優秀作品の(株)
福島設計事務所と基本設
計業務委託契約を締結し
ました。

原案では、来庁者用駐
車場56台、公用車用5台
計61台のスペースが記載
されております。公用車
20台分とバス車庫等につ
いては、敷地外で検討し
ないといけないと思いま
すが、今後の課題とさせ
ていただきます。

問

バスの車庫、秋ま
つり、災害時など
駐車場が必要であると思
います。
是非、近隣で土地取得
を交渉していただきた
い。

答
村長

それぞれの皆さんに協
力してもらい、準備を早
急に進めるようにしたい
と思います。



役場駐車場



加藤 生 議員

役場新庁舎は

総工事費17億円弱



問

建築工事費12億5千万円、外構工事約1億1千万円、庁舎解体4千800万円、西庁舎補修工事費1億3千万円、設計管理費9千万円が基本構想、基本計画で示されました。総予算は幾らで考えているのか。

答 村 長

役場新庁舎の総額は、16億9千万円で計画していました。プロポーザルの課題として示した事業総額は、17億円弱のことでした。建設については設計段階

階ですので、総事業費については不確定な要素が多いと思います。

当初計画した予算内で工事ができるように努めていきたいと思っています。

工事中の駐車場は

問

工事が始まれば、大型の重機や大型車両の出入りが多くなり、利用者や村民の方々に大変な自由をおかけするわけですが、安全性はどのように捉えているのか。また、現在でも駐車場が足りません。工事が始まる前に駐車場用地の確保を望むわけですが見解を伺います。

答 村 長

工事中も通常の業務を行いますので、安全第一で考えていく所存です。敷地内駐車は11台となっております。工事中の駐車場の確保も検討しています。



藤井 貞充 議員

近年増えている 災害についての今後の対策は

村長 自主防災組織の設立を推進し、
支援したい



避難訓練

問

令和になって最初の冬は、今までにない異常に暖かい冬を過ごしております。全国的にも雪が少なく、スキー場も雪がほしいところです。

このところ、冬も夏も気温が高く温暖化が進んでいます。昨年は、昭和村も6月の集中豪雨、10月の19号台風と災害を受け、初めての避難所を開設し、いろいろな課題も出ました。そこで、今後の災害への取り組みを伺いたい。

答 村 長

今年の夏も集中豪雨や大型台風などによる災害が心配されますが、昨年の避難所開設の際の課題を再確認し準備を進めています。また、被害を少なくするためには、一人ひとりが自ら災害に備え、自分を守るために取り組む「自助」そして、地域や近所の人たちで助け合って取り組む「共助」が大変重要であり、地域住民で結成される自主防災組織の設立を引き続き推進し、支援していきます。



永井前原地区

永井前原土地改良について

問

赤西、敷島1の2工区（永井前原）39・7haは、農地整備が未工区です。

先般、永井地区で農業を営んでいる人達が勉強会を開き、意見交換を行いました。そこで、全員から農地整備を行いたいと意思表示がありました。

答 村 長

敷島1の2工区については、以前に事業実施の話が裁ち切れになった経緯がありますが、なんと云っても地権者等の合意形成が必要不可欠かと思われまます。

村としては、関係者の合意が得られ事業を実施するとなれば、関係機関と連携を図りながら支援していきたくと考えております。



林 祐司 議員

赤字の福祉センター運営は

村長 このままの状況では
長期運営はむずかしい

問 1年前の一般質問の回答がまだないが、運営検討委員会の設置は怎么样了っているのか。

答 村長

過日行われた社会福祉協議会の理事会において、今後の施設のあり方について検討していきたい旨を報告しました。そのため、次年度の早期に運営委員会を開催し、今後の施設運営等について在り方検討委員会を発足すべく諮問させていただきたいと考えております。

問

福祉は、全村民がその恩恵にあずかるもの。すべての世代が楽しめる現代風の温泉センターに改修しては。

答 村長

あの施設は、ふるさと創生事業で温泉を掘削して造って、その設備を整



総合福祉センター

えたわけであります。福祉センターという名前がつけられたのも、村民の憩いの場所、福祉に供する場所として、子供たちからお年寄りまでが利用できる施設として建設したものでありますから、今後も村民のためになるような施設に改善できればと考えております。

問

今後は、閉鎖するののか、継続するのか。

答 村長

私個人としては、村民のために利用できる施設として残したいと考えています。

学校の在り方検討委員会の今後は

問 教育長の教育理念は。

答 教育長

子ども達の自己肯定感を育て、結果にかかわらず目標に向かい一生懸命に取り組むことの大切さ、また、よき人間関係をつくることの大切さを伝えたい。

問

学校の在り方検討委員会は、「合併を視野に入れた協議の場」と考えてよいのか。

答 教育長

設置要綱は、学校の合併には触れていない。委員の意見も「存続、3校統合、小中一貫校」がある。

問

「どうという教育環境が最良か」を検討すれば学校の在り方が見えてくると思うが。

答 教育長

各校とも特色ある教育をしている。少子化が進む中、将来の学校の在り方をいくつか提示できればと考えている。

問

社会情勢を考えた時、改革・統合を視野に入れて考えるべきだと思うが、村長の考えを伺いたい。

答 村長

諸問題がある中、自由な発想をしていただきたい。将来を見据えた答申を期待している。





林 幸司 議員

コロナ感染拡大の防止へ 徹底した対策を

村長 新型インフルエンザ等対策
行動計画に基づき対応していく

問

対応マニュアルの整備、現状と問題点や感染拡大を防止する徹底した対策を求めます。

答

村長

新型インフルエンザ等対策法に基づき策定した行動計画があり、まだ熟読していないが対応していきたい。

保健福祉課健康係に担当窓口を設置しました。

答

教育長

計画は読んでいませんが、学校も足並みをそろえて安全が大事だと考えています。卒業式は来賓等絞らせていただきました。

答

教育局長

3月分の給食費はいただきます。調理員さんには別の仕事を調整していきます。

奨学金の返還支援策を

問

世界一高い学費で若者が奨学金返済という借金に苦しんでいることは異常です。経済的理由で学ぶ機会が奪われないよう、大学等への村独自の奨学金制度とともに、村内就職者への返還免除等の支援制度の創設を求めます。

答

教育長

村独自の支援制度は、憲法・教育基本法の理念に沿ったものであり、村への回帰を促すものである。調査・研究をすすめていきたい。

答

村長

大変意義深い事業、戻って活躍してもらえよう、調査研究し、必要性を確認した上で創設できればと考えます。

高齢者等ゴミ出し支援策を

問

国は、高齢者や障がい者などゴミ出し困難世帯への支援策として、5割の交付税措置を始めました。本村においても、高齢者等のゴミ出し困難者に対して支援事業を実施していただきたい。

答

村長

介護認定者6名から希望があり、ホームヘルプサービス時に持ち帰る支援を実施しています。総務大臣より支援策実施の要請がありました。が、現状で対応していきたい。



みなさんからの請願・陳情

自 令和2年2月20日 至 令和2年2月25日

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者	紹介議員名	付託委員会	審議結果
16	R 2. 2.20	年金支給の隔月支給を毎月支給に改める(請願)	前橋市樋越町183-4 全日本年金者組合群馬県本部 執行委員長代行 女屋定俊 沼田市上沼須町643-6 全日本年金者組合群馬県本部 利根支部支部長 林 マツ	林 幸司	総務民生	採択
17	R 2. 2.20	若い人も高齢者も安心できる全額国庫負担の最低保障年金制度創設を政府に求める(請願)	前橋市樋越町183-4 全日本年金者組合群馬県本部 執行委員長代行 女屋定俊 沼田市上沼須町643-6 全日本年金者組合群馬県本部 利根支部支部長 林 マツ	林 幸司	総務民生	趣旨採択
18	R 2. 2.25	貝野瀬桐久保地内からの道路排水改良工事の実施を求める(請願)	貝野瀬代表区長 今楢 憲雄 (滝久保区長) 田岸区長 横坂 和夫 大堀区長 田沼 正美 池原区長 根岸啓之助	横坂末吉 林 幸司 片柳悦夫 林 勝美	文教産建	採択

視察・調査・トピックス

ニュージーランド視察研修

1月21日、成田発ニュージーランド航空にて、約11時間のフライトの後、無事オークランドに到着しました。2014年に安倍首相も訪れたヴィラリア・ワイナリーを視察、国内線にてクライストチャーチに移動後、野菜農場を視察しました。この農場では、キャベツ・レタスを始め、多くの野菜を市場と直売にて販売しており、オーナーの説明を受けた後、活発な意見交換を行いました。

1月26日午後9時、無事昭和村に帰ってきました。大変意義のある研修でした。

給食試食会

1月27日、議員全員で給食センターでの試食会に参加しました。

献立は、とうふめし、牛乳、レバーの甘辛煮、ごまマヨ和え、白菜の味噌汁、焼きかぼちゃでした。

栄養のバランスが良くボリュームもあり、大変おいしい食事をいただきました。

給食センターの方々に感謝いたします。

ウィンターフェスティバル 2020

2月8日、取手市長、取手市議会議長、玉村町長、玉村町議会議長ほか議員全員を迎え、道の駅の農家レストランにて交流会を催し活発な意見交換を行いました。その後、総合グラウンドへ移動し、冬の花火を観賞しました。

利根沼田合同「地域おこし協力隊活動報告会」

2月25日、昭和村公民館にて各隊員の活動報告を受けた後、地産新メニューの試食会がありました。

みなかみ版あおてんのグリーンカレー、こんにゃくコッペパン、チョコレート台湾カステラ、紅花茶、どれも大変おいしかったです。



運動公園にあったらいいもの

大竹 弘子さん



(赤谷)

47歳、レタス農家です。農繁期は畑を歩き回っているのですが、冬場の農閑期はウォーキングをして体を動かしています。ぬくぬくの部屋から出るのは気合いが必要ですが、お気に入りのスニーカーに手袋と帽子を身に付けエイトと外に飛び出れば、あとは歩くのみ。はじめこそ寒いと思っていた体は次第にポカポカになり、

「議会に望むこと」についての声を2名の方に届けていただきました。

マフラーも帽子も取ってしまふ程です。

私の家は総合運動公園近くのので、ウォーキングコースの中に取り入れています。外周を2〜3周します。暖かい時期は賑やかな運動公園も、冬場はほぼ貸切り状態の贅沢な(ちよつと寂しい?)ひとときです。雑木林には葉っぱもないので鳥が良く観られます。晴れた日には遠くの山々も見渡せて、とても気持ちいいです。そして、歩きながらいつも思うのです。この運動公園にこんなあったらいいのになあと。。。

それは、健康遊具です。健康遊具とは、気軽に運動ができる大人向けの遊具です。それを使うことによつてストレッチをしたり、筋

肉を鍛えたりできます。

こんな自然の中で、ちょっと遊び感覚で体を動かせたら楽しいと思います。これぞ青空ジム!! 健やかに自分の体を管理する手立てになるのではないのでしょうか!?

村民の心のケアも大事に

ランドル・ドーナさん



(三ツ谷)

昭和村に移り住んで一年が経ちます。引越した当時は、子供が年長、年少と0歳児でした。親は二人とも米国で生まれ育ったので、日本での保育制度に慣れず戸惑う日々でした。

今振り返ってみると、村の色々な行事に参加することで日本の生活に慣れることが出来ました。第一保育園のPTA役員になった

時、村民バレーボール大会やピンポンフェスティバルに参加し、いい汗を皆と一緒に流せて充実した経験になりました。

子供が大きくなるにつれてスポ少や育成会の行事が増えて、昭和村の運動貢献がさらに実感できました。とてもありがたいことでした。

身体を健康を大事にして村に住めてうれしいです。仕事は英語助手です。教育現場で出身地の学校と比べることがあります。学生の時、色々な悩みを抱えてスクールカウンセラーに何回も相談に行ったことがあります。そのおかげで大変な時期を乗り越えられました。

子供達が通う小学校では、スクールカウンセラーは常勤ではなく、月に数回しかいないと聞きました。数年前、相談に行ったことがあります。親子で個別相談ができ、話を聞いてもらう事で、気持ち安定しました。相談ができる親や親戚が近くにいない私にとってありがたかったです。

す。身体を健康も大事と思いが、心の健康つまりメンタルヘルスを大事にしたいなと思ひます。子育て中の親には、相談がいつも出来る学校カウンセラーの常勤勤務を提案します。また、村民が、誰でも相談ができる「ビレッジカウンセラー」があれば、村民の健康を守ることができると思ひます。検討していただけたら嬉しいです。



地域でがんばる人



人権擁護委員 森 峯子さん



(上内出)

地域で頑張る人に該当するかどうか。甚だ疑問に思いますがせっかくの機会なので人権擁護委員についてお知らせします。人権擁護委員は『街の相談パートナー』として活動しています。

昭和村でも毎月7日の午後は定例の人権相談日となっております。他には村の秋まつりや生涯学習大会などの行事で啓発活動を行っています。小中学校で人権教室や講話などを行ったりしています。また、中学生の人権作文も読ませていただき、中学生の考え方に触れるよい機会をいただいています。

2月には昭和村婦人会の研修でみなさんにボッチャを体験していただきました。障害者スポーツについて理解を深めるよい機会になったと思っています。

この仕事を依頼されてから一年半。もう少しお役に立てるようになっていきたいと思っています。



ボッチャ体験

編集室から

異常気象が続く中、この冬は降雪量が少なく暖かい日々となりました。生活するには良かったと思いますが、雪不足で困っている方もニュースで取り上げられていました。2月に入り、新型コロナウイルスが毎日ニュースの冒頭で報じられています。

学校の休校や各種イベントの中止、公共施設の使用禁止など、特に子供のいる家庭では大変な思いをされていることと思います。

いつまで続くのか、いまだ終息の見通しがつかないコロナ感染症ですが、この広報が届く頃には終息し、今年こそは災害のない平安な年であることを祈ります。

横坂末吉 記

議会広報編集特別委員会

委員長 高橋 隆雄

副委員長 阿部 孝司

委員

片柳 悦夫 林 勝美

沢浦 典子 倉沢つかさ

横坂 末吉 永井 一行